



杉戸中央ロータリークラブホームページ <http://www.sugito-chuo.com>

## ガバナー公式訪問・クラブ協議会

### 管理運営委員会

### 廣井委員長

基本方針:各委員会と連携し、クラブ活性化と積極的な委員会活動を支援する。

- クラブ活性化のため、会員増強を最大の目標とする。
- クラブ中長期計画を推進
- 各委員会との連絡調整

### 出席委員会

### 真中委員長

基本方針:各委員会と連携し、クラブ活性化と積極的な委員会活動を支援する。ロータリー活動に対する意識向上を図り出席率UPに努める。

- 月毎出席予定表の提出。
- メーキャップを奨励し、他クラブとの親交を深め出席率向上に努める。



### 親睦委員会

### 折原委員長

基本方針:会員相互の親睦、又、他クラブとの交流を図り親睦を深める。

- 会員結婚祝、会員及び夫人の誕生祝。
- 親睦ゴルフコンペ及び親睦旅行。
- 杉戸 RC との合同新年会。
- 春日部イブニング RC・幸手中央 RC 合同例会
- 流灯祭親睦事業



### ロータリー情報委員会

### 細井委員長

基本方針:ロータリーの会員がロータリーに関する知識と理解を広める情報を提供する。

- ロータリーの歴史、活動について詳しく説明し理解を得る活動をする。
- 入会3年未満への会員にロータリーの良さを理解して頂く活動をする。

### 会報・雑誌委員会

### 武井委員長

基本方針:ロータリーに関する会報・雑誌等を分析、理解をして、会員の為になる記事等を紹介しロータリーをよりよく深く理解してもらう。

- 「ロータリーの友」を委員だけに限らず会員交替で内容紹介する。
- 出席しないと後悔するような週報を作成する。
- 定期的にホームページに更新UP

### 講評

### RI2770 地区ガバナー大塚信郎様

杉戸中央 RC の組織表をスライドで見せていただきましたが、地区の組織図と同等になっていると思います。管理運営



部門、広報部門、会員増強部門、これは、内なる奉仕として考えております。

**広報では、**ロータリーの公共イメージの向上を図ってください、広報を正確にしてください。そしてロータリーに対する一般市民の方々の認識を高めてください。

**会員増強について**ですが、これ以上先進国の会員が減ってしまうと、ロータリーの目的としている、世界平和や、紛争解決そして、強調事項である、水・保健・飢餓・識字率向上そういったものに対す

る奉仕活動が停滞してしま  
います。従って、これ以上  
の会員の減少は、食い止  
めなくてはなりません。会  
員増加は、RIの強い要望で  
もあり、日本のガバナー会  
でも強い要望を出していま  
す。



今では、昔の3大奉仕である、国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、この3つが一つになっています。私たちの次の社会を担う新世代部門、人口増大が続く、開発途上国に対する奉仕活動が期待されるロータリー財団部門、国内の米山記念奨学部門の強化する目的として、これらが独立した部門になりましたが、決して、昔の3大奉仕が弱くなってしまったのではありません。

杉戸中央 RC の委員会の配分に関しましては、それに準じており、よく理解をしてこのように運営していただきたいと思ひます。

**ロータリーの基本は**、「出席・広域雑誌を講読・会費の納入」です。そして、ロータリーの例会の基本は、プログラムにあります。30分の卓話と30分の事務連絡及びロータリー情報交換です。会員の3分間スピーチ、「ロータリーの友」を読んだのスピーチなどを組み込んで30分を上手く使って下さい。米山梅吉さんは、「ロータリーは、人生の道場である。」とおっしゃっていますが、残りの30分はロータリーの例会を通して、外部の人の職業、考え方を知り、知識を広めて下さい。それが、卓話です。

**出席は**、ロータリアンの義務ですので、100%を目指してください。新しい会員を誘う時、必ずロータリアンの3つの義務をよく説明して下さい。確かに増強は大切ですが、それが実行できない方に無理して入って頂くとチームワークが乱れます。ちなみに私は、入会29年目ですが、皆出席です。ロータリーは、楽しむところなのです。

**親睦について**ですが、親睦にやりすぎということはありませんので、大いに進めていただきたいです。ポール・ハルスがロータリー始めたのは、奉仕ではなく、親睦が主体でした。楽しくなければ、ロータリーではない。楽しくなければ、奉仕活動に繋がりません。

**ロータリー情報**ですが、「友」のホームページを開いていただくと日本の34地区の奉仕活動を知ることができます。また、RIの情報もあります。「友インターネット速報」もありますので、是非活用していただきたいです。

**会報・雑誌委員会**についてですが、各ロータリークラブでは、記録誌・記念誌などをつくるのが推奨されています。10年間記録をさかのぼって整えようとすると大変な作業になります。杉戸中央は、周年事業の記念誌がないようですね。会報の記録だけではなく、5年ごとに集約したものを整えておくといいでしょう。20年分まとめてやろうと思っても十分なものが出来なくなる可能性があります。また、これを作る基本の台帳が会報になります。

### クラブ広報委員会

石塚委員長

基本方針:ロータリー事業を地域社会にPRしクラブの存在価値を創る。

- ロータリー事業のPR
- メディアとの懇談会開催
- ホームページの定期的更新



### 講評

RI2770 地区ガバナー大塚信郎様

立派なホームページを作っていて素晴らしいと思います。ただ、広報としてホームページを考えた場合、いかに一般の方が杉戸中央 RC のホームページに入ってくるのかが問題になります。

この地区では、カウント数が多いのは、浦和中央、春日部西と聞いております。浦和中央は、野草の研究をしている会員がHPで発表を載せています。春日部西では、青少年交換の関係で、春日部共栄高校の生徒アクセスが多いそうです。

杉戸中央でもアクセス数を増やす工夫をしてはどうかと思います。また、ロータリーの広報といたしましてはRIのDVDなどがありますので、利用してみたいかがでしょうか。

### 会員増強委員会

渋谷委員長

基本方針:奉仕活動、社会貢献にともに汗流す会員を増やし、クラブの更なる活性化を目指す。

- 2名以上の増強
- 会員1名につき2名以上の勧誘リストを作成
- レディース会員の勧誘

## 講評

### RI2770 地区ガバナー大塚信郎様

会員増強について、今皆さんと討議しないといけないのは、「会員増強がなぜ、必要なのだろうか。」ということだと思います。そして、今どのような奉仕活動をどのような計画を持って展開しているか、皆さん自身が分かっているかどうかです。CLP が提唱されたのは、まさにそれについて検討した結果なのです。

この杉戸中央 RC というのは、国際ロータリークラブを形成している1クラブです。その RI に参加しているロータリアンとして、RI が今何を目的として、どのような奉仕活動を展開しているのかを理解すれば、おのずと自分たちがやらなければならないものが分かるはずで、地域社会に対する奉仕活動も必要ですけれども、強調事項に対する国際奉仕もやらなければなりません。しかし、体力に余力がなければ、実践できませんね。では、この余力とは何かと申しますと、仲間です。

しかし、この仲間(会員増強)の数値は、実現不可能なものであってはなりません。栗原年度で何人というのではなくて、向こう 5 年間で何人と計画してみてください。例えば、20 周年までに会員数 40 名というのはいかがでしょう(笑)。私のバッジを皆様に差し上げますので、これを見るたびに 20-40 と思い出して下さい。



## 奉仕プロジェクト委員会

### 中野委員長

基本方針:CLP を通し当クラブが地域における存在価値を高める活動をする。

- 継続事業(あいさつの輪運動)の推進
- エコでポリオ撲滅運動の継続
- クラブ長期計画の作成



## 職業奉仕委員会

### 星野委員長

基本方針:職業を通し、社会に貢献することを目標とする。

- 「四つのテスト」唱和
- 「ロータリーの綱領」唱和
- 会員の職業アピール



## 社会奉仕委員会

### 星野委員長

地域社会に沿った奉仕活動を行い、クラブ活性化を目標とする。

- 腎・アイバンクへのドナー登録への推進
- 地域社会への支援活動

## 国際奉仕委員会

### 菅原委員長

国際友好クラブ設定を目標とする

- 国際友好クラブ設定の検討
- カンボジア井戸事業(25,000 円寄付)
- 杉戸町国際交流会への参加・協力

## 新世代奉仕委員会

### 菅原委員長

ライラ研修参加者の推進

- ライラ研修を PR し、参加者を募る
- 中学生、高校生職場体験プログラムの推進

## 講評

### RI2770 地区ガバナー大塚信郎様

奉仕プロジェクトセミナーでは、PETS の前倒しとしてクラブ会長エレクト会というものを行いました。地区と各クラブとが、整合性を持って継続的にうまく回転していたために、この奉仕プロジェクト部門を利用しようというのは、私が奉仕プロジェクト部門委員長をガバナーエレクトと兼務してからの方針です。

ロータリーは、職業人の代表であります。自分の職業のコンプライアンス(法令遵守義務)を守っていかなければなりません。ゆえに、四つのテストが重要であり、職業宣言が重要なのです。私たちは、絶えずこれを復唱し、自分を律しなければなりません。また、だからこそ、ロータリーのロータリーたる金看板が職業奉仕としてあるのだと、私は思っています。

「ロータリーの森」についてですが、岩淵年度のときに「地球環境にやさしく」というエコの考えで、検討した結果、長瀬町にこの用地を借りることができました。1 本 5000 円で植樹ができます。地区が率先してこれを行うことが出来ませんので、岩

渚直前ガバナーの浦和 RC がスポンサーになって地区が全面的にバックアップすることになりました。「ロータリーの森特別委員会」委員長を岩渚さんが向こう5年間務めます。ご協力お願い致します。



昨年私は、奉仕 PJ 部門委員長で青少年交換委員会も担当いたしました。各高校に、地区から青少年交換のポスターを貼り出して、「海外に1年間留学したい人は、応募してください。最寄のロータリークラブにご相談ください。」という形でご案内しております。ですから、もし学生から相談があったときには、断らないで下さい。クラブの事情で受入が出来ないときには、ガバナー補佐を通して地区に相談下さい。よろしくお願い致します。

**ロータリー財団** **深瀬委員長**  
基本方針: 財団の提言を尊重し、寄付目標を目指し世界理解と国際平和の達成に努力する。

- 財団の活動とプログラム理解に努める。
- 会員への寄付の協力(目標一人 200ドル)

**米山記念奨学会委員会** **若木委員長**  
基本方針: 米山記念奨学会の意義、目的について会員への周知徹底をする。

- 米山記念奨学会の重要性について会員への理解を深めるため、卓話の開催及び資料の配布を行う。
- 会員一人あたり2万円の寄付を目的とする。

**講評** **RI2770 地区ガバナー大塚信郎様**

昨年、岩渚ガバナーが、公式訪問で、「うちのクラブは、いつも 100%達成しているのに、世話クラブをさせてもらえない。」と3つのクラブから言われたそうです。そこで、米山記念奨学会では、岩渚さん指導のもとで、ある方程式をつくりました。過去3年間世話を何人したかを分母に、分子にはクラブの寄付額一人平均の過去3年間の合計金額をおきます。少ないクラブでも一人 15000 円以上の寄付で、手をあげてくだされば、3年に1回は、回ってくるようになります。多いところでは3年に1回はお休みいただきます。という方程式を考えています。世話クラブは、あまり経費が掛かりません。で

すから、毎年手をあげてほしいと思います。

ロータリー財団について、年次寄付・用途指定寄付・恒久基金の3つがあります。基金というのは、元金を使わないで、利息だけを3年間運用します。利息の半分が、ワールドファンドに半分が地区に DDF(地区財団活動資金)として戻ってきます。関西では、安定して戻ってくる恒久基金をうんと貯めているそうです。関東では、年次寄付で3年後の DDF を活用しています。私の年度は、3年前の飯野年度の寄付額約 60 万ドルの半分 30 万ドルが DDF として戻ってきております。5万8000ドルを地区補助金、国際親善奨学生 15 万ドル、9 万ドルを世界平和フェロー維持とポリオ特別寄付で有効に使われております。

年次寄付が少なくなりますと、地区の運営が厳しくなりますので、是非とも1人200ドルの寄付は達成してください。ポリオ撲滅に関しては、昨年は、1人平均30ドルでしたが、ビル・ゲイツの2億ドルチャレンジにより1人平均50ドルをお願いします。

**講評** **第6グループガバナー補佐染谷英壽様**

「ロータリーは、楽しむところである。楽しくなければ、奉仕に繋がらない。」とガバナーは、おっしゃいました。しかし、私は、ロータリーに入って楽しいどころか、辛いことばかりでした。



それは、私が話すのが苦手だからです。青年会議所時代も、3分間スピーチができず大変苦労しました。ロータリーに入ってもスピーチや会員卓話などがあり、苦痛なところだなと考えておりました。ところが、慣れてくると図々しく10分も20分も話すことができるようになります。また、幹事、会長、地区の委員長へと役職に就くことになると、それぞれに苦難や苦労がたくさんあります。しかし、それもガバナーの言う自己研鑽なんですね。確かにそれを乗り越えて、自分が高められてきたと考えています。また、バッジを付けているだけで、声を掛けたり掛けられたりして、そこでロータリーの苦労話をするのも楽しいものです。しかしそれも、苦労あつてのこと、どうか自己研鑽を念頭におき、すばらしいクラブ作りに励んで頂きたいと思います。ありがとうございました。